



No. 25

発行 58年 / 月 8日

新年 明けまして おめでとうございます。

旧年は、格別のお引立を賜わり、誠にありがとうございました。本年も相変りませず、

よろしく お願い申しあげます。

今年は、スキー場に雪のない暖冬で、灯油が節約できて、結構なことですが、私共の商売に直接 響かなくても、暑い時は暑く、寒い時は寒くならないと、景気に響いてくるようで、この分では、三年続きの不況から、いつ脱出するのか、心もとないことです。

しかし、冬はかり 続きません。闇夜ばかりではありません。挽ゆまぬ努力を続け、精進するものには、必ず春が訪れ、朝陽が昇ると信じ、今年も頑張らましよう。

皆様には、本年が 猪突猛進の如き 発展の年とされますことを 念じますと共に、併せて 鬼に、一層のご支援を賜りますよう 謹んで お願い申し上げます。

※ 1月の鬼基準建値は、393円/kgです。

12月の電気銅建値 1~21日 400円/kg, 22~31日 390円/kg で 平均建値は、396円52銭でした。

昨年末より 年初にかけて 海外銅市況は、ジリ高を続けておりますが、円高で相殺され、1月の電気銅建値は、390円でスタートしました。

従って 鬼基準建値は $(396.52 + 390) \div 2 = 393$ 円26銭となり、円未満切捨て 393円となります。価格表は、1ランク下がり 350円超 ~ 400円以下の欄になります。



シベリア寒気団は、いったいどこへいったのでしょうか。大寒に3月なみの陽気では、私達の身体まで調子が狂いそうです。風邪がはやるようですが、栄養と十分な睡眠をとて、ひきまないよう注意いたしましょう。

銅相場は、海外市況が昨年暮れ以来、貴金屬高につられて、水準を高めており、円高でかなり相殺されているものの、1月に10円上がり、2月1日より更に20円上がっており、ます。魁の価格帯は、1ランク上がり、400円^超 ~ 450円^{以下}のところになります。本年も、この価格帯が多い推移かと思われます。

※ 2月の魁基準建値は、407円/kgです。

1月の電気銅建値は、4~17日 390円、18~31日 400円で、平均建値は395円丁度でした。

2月の電気銅建値は、20円上がり 420円でスタートしました。

従って魁基準建値は、 $(395 + 420) \div 2 = 407$ 円50銭となり、円未満切捨て407円となりました。価格表は1ランク上がり 400円^超 ~ 450円^{以下}の欄になります。

※ 空きパレット返却のお願い

魁の安全輸送と保管の便宜を計って、パレットによる出荷を行なっておりますが、パレットの回収がはかどらず、当社では、出荷業務のみならず、生産にも支障が及び、大変困っております。

積極的にご協力下さるところが多いのですが、魁とは、関係のない商品を入れて、商品棚として使っておられる会社もあるやに聞いております。多額のコストをかけておりますパレットですので、早急に整理してお返し下さるよう(運賃当社負担)お願いいたします。商品棚として使いたいご希望がございましたら、実費にてお世話させていただきますので、当社担当員へお申し付け下さい。



3月 弥生。春はたしかに足取りで 近づいてきております。

寒さで 縮んでいた身体を伸ばして、思いきり 背伸びをしませんか。気力が全身に 満ち満ちてくるように思います。

景気も 寒さに縮んでしまつたように 極端に悪い状況になっておりますが、日本人特有の 付和雷同する 群集心理が働いて、実態以上に悪い動きをもたらし、している面が、なきにしもあらず。ここは、背筋を伸ばし、姿勢を良くして、全体像を正しく見る眼を失なわず、事にあたり 処していくことが 肝要と考へます。

★ 3月の 魁の 基準建値は、420円/kgです。

2月の電気銅建値は、月初から月末まで 420円 で変わらず 3月の建値も、据置きで、420円/kgで スタートしました。

従つて 魁基準建値は、 $(420+420) \div 2 = 420$ 円 となりました。

価格表は、2月と同じ 400円^超 ~ 450円^{以下}の 欄になります。

銅市況は、米国の景気回復の兆しをみて 上向きに転じ、騰勢をみせましたが、金価格の下落の影響をうけて、値上がり分を 消してしまいました。



「物件情報を キックしたら、商機を逃さず、素早く行動する。」

これは、皆様が、当然、やっておられることでもあります。

一歩 すすんだ会社では、設計事務所を歩き、物件情報の作成段階から、接触をすすめて 成功をおさめておられます。

★ 空きパレット返却のお願い

パレットが不足して 困っております。空きましたら、着払いで 最寄りの 運送業者に、お渡し下さいますよう お願いいたします。



No. 28-1

発行 58年 4月 1日

今頃の長雨を 菜たねつゆというそうですが、一雨ごとに草木も芽ぶき 蕾もふくらんで
きました。桃の花の咲く所を選挙カーが走って行きます。出勤時の駅前には、保革がマイ
合戦をして 喧騒としています。

最近では「選挙を貸します」という レンタル屋さんがある、大変 繁昌しておるんだそうです。机
や椅子にはじめて、小物は、タスキ、メガホン、灰皿等、一切の必要道具を運動期間中
だけ借りて、済んだら 引取ってくれる 商売は、利用する側にも 大きなメリットがあります。
頭をひねれば、新しい商売のフネは、まだまだあるのでしょうね。

※ 4月の 魁基準建値は、417円/kg です。

3月の電気銅建値は、1~12日 420円、14~31日 410円で、平均建値は 414円09銭
でした。

4月の電気銅建値は、10円戻し、420円でスタートしました。

従って、4月の 魁基準建値は、 $(414.09 + 420) \div 2 = 417$ 円04銭となり、円未満切捨て
417円となりました。価格表は、3月と同じ 400円^超 ~ 450円^{以下}の欄になります。

※ ストリングセール開始

需要の出ってくる時季に 焦点を合わせ、4月1日から5月31日迄、二ヶ月間 販販のため、
バラエティに富んだ 景品を揃え、キャンペーンセールを行います。この機会に 営業活動に
活を入れて 盛りあげていきましょう。代理店のみなさまの 絶大なるご協力とご奮闘をお
願い申しあげます。

特に 魁をまだ 使っていない 板金店の方々に、当社の社員が同行し、買って
いただくようお願いする 同行セラーは、B & B 作戦の 一番 狙いとする所
あり、ぜひ 担当者にご用命下さるようお願い申しあげます。

※ ステン文字 魁の発売について

魁ニュース 21号で、カラーステン魁の発売開始をお知らせしましたが、今月より 態勢を整え
て、本格的に 製造販売することに致しました。

カラーステンは、耐食性、強靱性を買われて、屋根材としての需要が急増してきて



No. 28-2

発行 年 月 日

おります。銅より かく加工しにくい材質ですが、鬼斗では、専用ラインで 精度の高い製品作りを可能にしました。

今月中頃 新聞や雑誌にも 「ステン文字 鬼斗」の新発売を発表します。

価格表とカタログは印刷ができ次第 お届けいたしますので、ご頒布下さいますようお願い申し上げます。色は、クイヤー ブラウンの基本2色の他に、当社独自のいぶしブラックを用意しました。この色は、和洋いずれの建築にも 調和し屋根の造型美を引きだしています。

銅文字 鬼斗の姉妹品として登場します「ステン文字 鬼斗」に変わぬ 御支援を賜われますよう 謹んで お願い申し上げます。



No. 29

発行 58年 5月 4日

風薫る五月。新緑が眩いほど美しい。この美しい山河を満喫できる我々はすばらしい自然に恵まれたことを感謝しないではおれません。そしてこの天与の財産をしっかりと守り、いかねばと思います。

ゴールデンウィークをみなさまは如何にお過ごしになりましたか。屋外での運動や野山への散策、それとも元寝いや休みどころでなく仕事をやったよといおれる方もいらっしゃるでしょう。休みが明けて皆さまには、大いにハッスルなさっておられること存じます。

魁は四月よりスポットセールを始めておりますが、今月末で終了。五月は勝負(菫)の月。あと暫らくですが、代理店のみなさまの絶大なる御協力をお願いいたします。

※ 五月の魁基準建値は 431 円/kg です。

四月の電気銅建値は 1~20日 420円、21~末日 440円で平均建値は 423円でした。五月の電気銅建値は 10円上がって 440円でスタートしました。従って五月の魁基準建値は $(423 + 440) \div 2 = 431$ 円 50銭で、円未満切捨て 431円となります。価格帯は前月と変わらず 400円超 ~ 450円以下の欄です。

※ 「ステン-文字 魁」 新発売

先月の魁ニュースでご案内申しあげましたように、4月21日からカーステンレスとカーボンステン-文字専用「ステン-文字 魁」の発売を開始しました。「銅-文字 魁」同様に、ご愛顧、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



六月一日は、衣替えの日。通学する学生の制服も白っぽく変わり、道行く人々の服装も、すっかり夏らしくなりました。

五月に入って、米国の景気が本格的な回復トレンドを示している報道、非鉄市況が銅及びアルミの需給関係が、急速に改善されつつあるため上昇しているとの報道等、市況の好転を思わせるニュースが多く出てきましたが、はたして本当に景気は好転してきているのでしょうか。

確かに、エレクトロニクス産業を中心として輸出の好調で伸銅メーカーでも、その方面に強いメーカーは、受注残が急増しているようですが、すべてのメーカーではなくて、一方では、それほど忙しくなっていないメーカーもあるようで、又々々というのが、全体像ではないでしょうか。

建材用の銅板、銅条については、不採算品種として各メーカーが頭を痛めているところだけに、受注状況が改善されれば、いち早く採算ラインに価格を戻したいところです。

しかし、電気銅建値が45万円する現在、市況はまだ5万円ほど低い水準にあり、採算ラインにのるのは、まだまだむづかしい現状です。

※ 六月の鬼基準建値は、447円/kgです。

五月の電気銅建値は、1~16日 440円、17~31日 450円で、平均価格は、445円10銭でした。六月の建値は、450円据置きでスタートしました。従って六月の鬼基準建値は、 $(445.10 + 450) \div 2 = 447.55$ 銭で、円未満切捨て 447円となりました。

鬼価格帯は、前月同様 400円^超 ~ 450円^{以下} の欄で据置きです。

※ セールの景品集計はお早めをお願いします。

4月1日から、5月31日まで、催しましたキャンペーンセールは、皆様のご協力のもと、大きな成果を収めて終了いたしました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。

お忙しい処、恐縮ですが、景品の集計は、できるだけ早くお申し入れいただきますようお願い申し上げます。



No. 5/

発行 58年 7月 1日

年月のうつろいは、まことに早いもので、はや本年も折り返し点をすぎました。例年より雨の少ない所が多く、やや空梅雨気味ですが、あじさいが緑の中にさまざまな色で咲いているのは、誠に美しいもので、特に青色の花は涼しげで、一刻蒸暑さを忘れさせてくれます。

景気について新聞紙上でや、上むきの明かると見ますが、設備投資の低調、住宅着工戸数のマイナス等、住宅関連産業には厳しいニュースが多く、むしろ不況感を強く感じます。もはや企業をとりまく環境の好転に期待しても叶えられる時代ではありません。経営者は、企業を環境がわるい中で、生き残っているだけの体力のある健康体にしなくてはならないと思います。

※ 7月の魁基準建値は 441円/㎡です

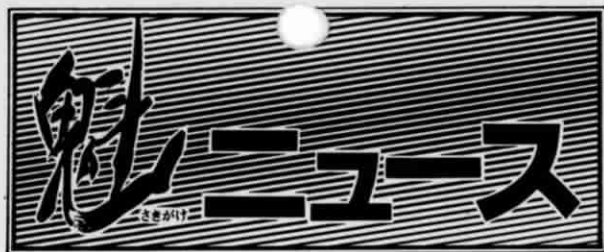
6月の電気銅建値は、1~7日 450円、8~30日 440円で平均価格は、442円27銭でした。7月の建値は 440円でスタートしました。

従って 7月の魁基準建値は $(442.27 + 440) \div 2 = 441円14銭$ で、円未満切捨て 441円となりました。

魁価格帯は前月同様 440円^起 ~ 450円^{以下}の欄で据置きです。

※ 特約工事店の看板について

代理店の皆様方の販売ルートと確立するため、ならびに魁ファン固定化対策のため、板金店名入りの銅文字魁 特約工事店の看板をご愛用いただいているユーザーの方々にお届けすることにいたしました。詳しくは、同封列紙、ご案内の通りでございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



夏の高校野球の出場校も出揃い。いよいよ八日から甲子園球場で大会の幕が切られます。各県から一校づつ出るようになってから、この大会はふるさとに密着した催し物としてより親近感が高まるようになりました。この大会が始まると終ある迄は丁度盆休みもあって仕事になりません。

暑い時だし、少しペースダウンした方が、秋に備えてのスタートダッシュに遅れをとらないうめにも、よろしいかと思えます。

この所 国際商品の市況上昇が目立ってきました。米国が国内景気の回復で輸出余力がなくなり、商品によっては輸入する側に回っているのが最大の理由といわれています。建築用の銅板、条についても伸銅メーカーがエレクトロニクス関連の素材をはじめとして、全般的な需要の増加で繁忙となり屋根用銅板、条については、減産をしてロールマージンの回復をはかる戦略がとられはじめました。この影響は秋以降、サイズによっては品不足になり市況を押しあげてくると考えられます。

※ 8月の魁基準建値は 440 円/kg です。

7月の電気銅建値は、月初から月末まで 440 円で変わらず、8月の建値も据置きで 440 円でスタートしました。

従って 8月の魁基準建値は、 $(440 + 440) \div 2 = 440$ 円で 440 円となります。

魁価格帯は、前月同様 440 円^超 ~ 450 円^{以下} の間です。

※ ステン-文字魁 品揃い !!

ステン-文字魁は、当社独自の いぶしブラックをはじめとして、ブラウン、グレイ-(シルバー) 共各サイズを在庫し、即納態勢がとれましたので、精々 御下命下さいますよう、お願い申し上げます。

又、いぶしブラックについても、コイルでの販売もいたしますので、ご照会下さい。

在庫サイズは $0.3^{mm} \times 455^{mm}$ 幅 $\times 50^m$ と $0.3^{mm} \times 914^{mm}$ 幅 $\times 20^m$ です。

酷暑の折柄、御自愛賜わりますよう、お祈り申し上げます。



立秋をすぎたのに、真夏日を思わせるほどのきびしい残暑が続きました。
九月の声をきけば、朝夕はうんと涼しくなり、すだく虫の音に秋のたしかな訪れを感じます。

スポーツの秋、食欲の秋……といわれるように秋は、体力増強の好季節です。
戸外に出て、運動を大いにいたしましょう。

さて、先月の魁ニュースで申しあげましたように、銅板・条が自立して品不足になり、豊富な在庫をモットーにしてきました当社も、メインサイズから欠品が出始め、皆様に大変ご迷惑をおかけしております。

これには、色々な原因がありますが、①長期的素材産業不況の中でメーカー各社は採算悪化に苦しみ人員整理をする等、合理化に徹して採算度は高い状態を維持していた。②エレクトロニクス向け銅合金材の需要が今春より急速に増加した。(年率20%程度の伸びが今後5年位続くといわれている)③エレクトロニクス向け素材の供給を増やすには、一方で減らすものが必要で、不採算品種のものが削られた。その一つに建材用板・条が入っている。④8月は例年夏休みがあってメーカーの操業日数が少なく生産量が落ちた。

ことなどで、9月に入って尚一層品不足が自立しております。

このような状況は、9月がピークで10月以降漸次解消されると思いますが、伸銅メーカーの好調な受注状況は、当分続きますので、価格的には底堅い動きに終始すると考えられます。

365、455、606幅の一般サイズの条・板について日本鋳業の製品は供給がストップし、大変ご迷惑をおかけしておりますが、魁用の素材は確保できておりますので、ご迷惑はかけずに安定供給の責任を果たしたいと思っておりますので、尚一層の御引立を賜われますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

* 9月の魁基準建値は、426円/kgです。

8月の電気銅建値は、1~10日440円、11~31日430円で、月平均433円48銭でした。

9月の電気銅建値は、10円下がり420円でスタートしました。

従って9月の魁基準建値は、 $(433.48 + 420) \div 2 = 426$ 円74銭で、円未満切捨426円となりました。

魁価格帯は、前月同様、400円^超 ~ 450円^{以下}の欄で据置きです。



★ 「ステン-文字 魁」 出足好調

ステン-文字 魁は、各建築誌の新製品紹介欄に記事掲載され、それを
読まれた建築事務所や建築会社より、数々の照会や問い合わせがきております。
公售地域や海岸に近い所では特に好まれており、販売注力商品として、お取り
あけ下さるようお願い申し上げます。

★ 「ファクシミリ」 高速機導入

従来 当社のファクシミリは低速機で、高速機を利用して送信される向きに
大変 ご迷惑をおかけいたしておりましたが、このたび高速機を導入いたしましたので、
ご案内申し上げますと共に、発注事務にご活用下さいますようお願い申し上げます。
尚、ファクシミリ番号は、変わらず 06-532-7009 です。

来春 高校や大学を卒業する学生が、リクルート版や学生版で会社を訪問する姿を見かける季節になりました。厳しい経済環境やOA、FAの進行と共に企業の募集計画も変わっており、特に高卒は例年に較べると厳しいと見えます。ただ、いたおらに成長を遂げる経済社会でなくなった今日、企業の採用計画がきびしいのは当然でありましょう。しかし我々にとって、優秀な人材の確保がますますの課題といふべきで、既存の戦力の強化をはかることがより重要となってきます。

海外銅相場は、9月下旬より下がり、1982年6月の底値(LMEま684.5)と1983年5月の高値(LMEま1147.5)の丁度中間位の水準まで下がり、即ち半値戻しの状態になりました。これは、やや下がりすぎで、少々反発するかと思われますが、一方、円高傾向が定着してきていますので、大した戻しもないかと思われます。

一方、伸銅メーカー各社の受注状況は、その後も好調で、各社共、納期おくれをだしており、価格面に於いても、過去のように原料銅価にスライドせず、据置き姿勢を示しております。過去の動静からみて、固定価格を押しメーカーの考え方には、無理な面もあると思われますが、現況、品不足気味で、メーカーも満腹の状態ですから、同値圏内で推移する可能性は、大であります。

※ 10月の魁基準建値は、398円/kgです。

9月の電気銅建値は、1~20日 420円、21~30日 410円で、月平均 416円50銭でした。10月の電気銅建値は、30円下がり 380円でスタートしました。

従って、10月の魁基準建値は、 $(416.50 + 380) \div 2 = 398$ 円25銭で円未満切捨て 398円となりました。

魁価格帯は、前月より1ランク下がり、350円超 ~ 400円以下の欄になります。



秋冷の候となり 紅葉が美しく野山を採る季節になりました。

米国を筆頭に景気は着実に回復の途を進んでいると言われているが、国内の住宅着工数は、依然として伸び悩み、日々の商戦環境は、いらだんと厳しい中、皆様には益々ご奮闘のことと存じます。建材用銅板、条の需給状態は、現在も前号で ご報告いたしましたように、タイトでメーカーの販売姿勢に軟化の兆しは見えません。原料銅価格と比較したとき、現在の板条の市況価格は、やや高い水準にあるといえるかも知れませんが、弱電、自動車、その他一般材の需給関係の基調に変化が出てこない限り、建材用板条の市況も崩れないと思われまます。

お引立ていただいております魁のカラーサンプル帳ができました。

緑青、硫化、及びカーステルス等のカラーサンプルをまとめております、設計事務所へのP.Rにご活用下さいませよう お願いいたします。

※ 11月の魁基準建値は 375円/kgです。

10月の電気銅建値は、1~31日 1ヶ月間 380円で終始いたしました。

11月の電気銅建値は、10月Fがり 370円でスタートしました。

従って 11月の魁基準建値は、 $(380 + 370) \div 2 = 375$ 円となりました。

魁価格帯は、前月と同様 350円^超 ~ 400円^{以下}の欄を ご覧下さい。

※ 発売30周年記念初荷セルのご案内

魁発売以来、この12月で 九三年になります。これを記念して平素のご愛顧に感謝して 記念セルを行います。

期間は 12月1日より 59年1月31日迄 2ヶ月間です。

今回は 1泊2日のゴルフ旅行を目玉とし、30点、40点クラスにバラエティーに富んだ景品を揃えております。ポスターチラシは 11月20日迄にお届けするよう準備をすゝめております。この機会に一層の拡販を達成いたしたく代理店各位の絶大なるご支援、ご協力をお願い申しあげます。

当社担当営業マンにお早めに同行セルをお申し付け下さいませよう お願いいたします。



「終わり良ければ すべて良し」という諺がありますが、この一年の最後を締める月に入りました。掉尾を飾り新しい年につなぐためにこの月は全員、火の玉となって燃えあがらねばなりません。皆様には、目標を設定し、戦略を樹ておられることと存じますが、重品商品にせひ 魁(さきがけ)をとりあげて下さいますようお願いいたします。押し込み販売はその反動があとになって必ずくるものですが、魁(さきがけ)の場合は銅板、条のニースを魁のニースにする。つまり素材の商売をより附加価値の高い商売にすることで、後の反動は、ありませんから、「発売三周年記念初荷セール」をテコにして売上増大、利益の向上につないで下さいますようお願いいたします。

みのりの秋も去り、野山の樹木も紅葉を落しはじめ冬の気配が日毎こくなってきました。寒さもきびしくなっています。ご自愛下さいますようお願い申しあげます。

この一年、たいへんお世話になり、格別のご愛顧を賜りましたこと、紙上より厚くお礼申しあげます。どうか来年もよろしく願い申し上げます。

最後に貴社の益々のご繁栄ならびに社長様はじめ社員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申しあげます。

* 12月の魁基準建値は 375 円/kg です

11月の電気銅建値は、1~30日 1ヶ月間 370円で終始いたしました。

12月の電気銅建値は、10円上がり 380円でスタートしました。

従って 12月の魁基準建値は、 $(370 + 380) \div 2 = 375$ 円となりました。

魁価格帯は、前月の同じ 350円^超 ~ 400円^{以下}の欄をご覧下さい。

* 同行販売のお願い

初荷セール期間中 積極的な同行販売をさせていただきますようお願いいたします。早目に 当社担当営業部員にお申しつけ下さいますようお願い申しあげます。